



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第261号

2016年3月28日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市長提案の予算に対し組み替えの動議提出

日本共産党は、2016年度八千代市一般会計予算に対する組み替えの動議を3月議会の最終日提出しました。提出の理由は次の通りです。

秋葉市長は、自らの公約を裏切って新川ハコモノを推進、その結果、近隣市と比較しても膨大な借金をかかえ、そのつけを2015年度当初予算で、一気に13億円もの負担を市民に押しつけたのです。

しかし、この2015年度予算編成には、「歳入を過少に、歳出を過大に見積もっているではないか」と日本共産党は繰り返し指摘してきました。今議会に提出された2015年度補正予算をみれば、指摘のとおりとなっています。

一般会計では、家庭でいえば貯金にあたる財政調整基金を10億3千万円取り崩す予定でしたが、その大半を取り崩すことなく翌年度に繰り越しているのです。

さらに、特別会計の国民健康保険事業会計でも、医療給付費が過大に見積もられていると指摘したが、約10億円もの減額補正となって提案されています。

余裕財源の一部を市民に還元を

日本共産党は、2015年度市民に押しつけた13億円もの負担増の一部でも市民に還元すべきであり、その復活を求めて予算の組み替えの動議を提出しました。

昨年度予算で減額又は削減されたものには、暮らしを守るうえで重要な施策が含まれており、このまま見過ごすことはできません。総額2億3900万円の組み替えを提案をしました。(裏ページ参照)

総額2億3900万円を財政調整基金から取り崩し、市民の安全・安心のために学校の教室にエアコンを設置する調査費として500万円、配食サービスへの助成を従前の300円に戻すために2700万円を計上しています。

公立図書館購入費の増額に1200万円、高齢者へのインフルエンザ助成を1000円に戻す費用610万円、時間外保育料の保護者負担の軽減に1074万円、甲状腺がん検査費用の助成として、36万円を計上しています。

国保料の引き下げ、待機児童の緊急対策を

さらに、国民健康保険料については、国からの交付金約1億6千万円を、他の自治体では国保料の引き下げのために充当しているのに、八千代市は国保料の引き下げに使っていません。一般会計から国保会計に対し、1億6千万円を追加し、1世帯当たり6000円の引き下げを求めました。

同時に、国民健康保険料、介護保険料の引き下げには、市の財政のやりくりだけでは解決できるものでなく、国に対し一層の交付金の増額を求めるものです。

さらに、保育園・学童保育の待機児童の解消のために、抜本的な対策が求められています。八千代市は、そのための具体的・緊急的な対応をすべきです。

